

一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会
令和 3 (2021)年度 定例学術研究会のご案内

さまざまな状況下での発達障害支援 —環境変化がもたらす問題—

一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会では、職種領域を越えて心因性疾患やその周辺領域の子どもへの理解を深めるべく昭和 52 (1977) 年から定例学術研究会を開催しております。

令和 3 年度のテーマは『様々な状況での発達障害支援—環境変化がもたらす問題—』です。社会的にも発達障害児への理解や支援について意識が高まり、様々な機関にて支援対応が行われるようになりました。しかし、例えば衝動性が高く行動上の問題が大きい子どもや社会関係からひきこもる子どもの対応に苦慮する専門家は未だ少なくないと思われまます。そのような中で新型コロナウイルス感染症の拡大によって生活様式が変わり、元々の対人関係の拙さが一見目立たなくなる一方でゲーム等への依存が強くなるなど、子どもの問題の表れ方や周囲の捉え方も少しずつ変わっているようです。そこで最近の子どもたちの臨床像と望ましい支援について考えたいと思い企画しました。それは発達障害児に限らず、広く子どもたちの成長・発達を考える上でも役立つと考えます。講師には例年どおり第一線で治療・支援・研究にあたっておられる先生方をお迎えします。皆様方のご参加をお待ちしています。

【年間予定】 開催時間：19:00～21:00

開催予定日	講師・内容
令和 3 年 377 回： 6 月 11 日 (金)	<u>SNS カウンセリングの実際</u> 宮田 智基 先生 (帝塚山学院大学大学院 教授 公認心理師・臨床心理士)
378 回： 7 月 9 日 (金)	<u>発達障害児の教育</u> 金井 孝明 先生 (NPO 法人ぴーす, (一社)わおん 公認心理師・臨床発達心理士)
379 回： 8 月 6 日 (金)	<u>発達障害のある大学生への支援</u> 近森 聡 先生 (関西大学 公認心理師・臨床心理士)
380 回： 9 月 10 日 (金)	<u>虐待, ト라우マ関連症状への対応</u> 山本 恒雄 先生 (愛育研究所 客員研究員)

381回：10月8日（金）	<u>就労支援について</u> 木下 忠恭先生 （帝塚山学院大学，清教学園 公認心理師・臨床心理士）
382回：11月12日（金）	<u>ゲーム/インターネット依存症とその対応について</u> 片上 素久先生 （大阪市立大学医学部 精神科医）
383回：12月10日（金）	<u>療育機関での実践</u> 高遠 光子 先生 （相談室黎明 特別支援教育コーディネーター）
384回：令和4年 2月4日（金）	<u>環境変化と発達障害、そして薬物療法の功罪</u> 富田 和巳 （こども心身医療研究所 小児科医）

【参加要項】

参加資格：医師・看護師・心理士・教師・保育士など、子どもの成長・発達に関わる専門職に従事する方、または同領域の大学院生で守秘義務を遵守していただける方

会場：エル・おおさか（大阪府立労働センター）

大阪府中央区北浜東3-14
京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

年会費：12,000円

定例学術研究会の令和3年度会員となつていただくことで、令和3年度中の全ての回にご参加いただけます。ご希望の場合は申込書類を郵送しますので「こども心身医療研究所」までご連絡ください。参加費の納入と登録用紙等の返送をもちまして年会員として登録し、毎回のご案内と（一社）大阪総合医学・教育研究会機関紙『こども心身だより』を郵送させていただきます。法人等団体としての登録も可能です。

※ 単回参加（3,000円／回）も可能です。事前準備の都合上、必ずお問合せ・お申込
くださいますようお願いいたします。

※公益財団法人 関西カウンセリングセンター研修ポイントが取得できます

新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めますが、状況によっては開催時間の
変更や延期／中止する場合がございますのでご了承ください。

連絡・問合せ先：一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会 こども心身医療研究所
Tel. 06-6445-8701 Fax. 06-6445-7341 （担当 藤原）